

WILLCOM

WX321J

取扱説明書



JRC 日本無線株式会社

はじめに

このたびは、「WX321J」を
お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本電話機を正しく効果的にお使いくださいますようお願いいたします。

ご利用にあたって

- 本電話機のご利用には、ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされる際には、契約事務手数料がかかります。また、契約申し込み後は、毎月の基本料金と通話料がかかります。詳しくは、巻末の「お問い合わせ窓口」に記載されているウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。
- できるだけ電波の強いところでご使用ください。本電話機は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。見晴らしの良い場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本あるいは5本表示されている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所では、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- 繁華街など人通りの多いところでは、通行の妨げにならないところでご使用ください。
- オートバイや車などが近くを通ると、雑音が入ることがあります。
- 一般の電話機、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くでご使用になると、雑音などの影響を与えることがあります。
- 電気製品やOA機器などの近くでご使用になると、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。
- 電子レンジをご使用のときは電磁波の影響を受けやすく、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。
- 本電話機は電波を使用している関係上、第三者に傍受される場合があったくないとはいえませんが、デジタル信号を使用した秘話機能をサポートしております。
- お客様自身で本電話機に登録された内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。万一、登録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本電話機はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。Copyright©1996-2007 ACCESS CO., LTD.
本電話機の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本電話機はJava Virtual Machine技術として、株式会社ACCESSのJV-Lite2を搭載しています。Copyright©2000-2007 ACCESS CO., LTD.
- 本電話機はTCP/IPプロトコルスタック技術として、株式会社ACCESSのAVE-TCPを搭載しています。Copyright©1986-2007 ACCESS CO., LTD.
- 本電話機は、Red Bend Software社のソフトウェアを搭載しています。Copyright©Red Bend Software, Inc. 1999-2006
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用いただくことをご承諾するものとします。ご利用にあたり株式会社ウィルコム、日本無線株式会社および別に掲載した認証会社は、万一何らかの損害が発生したとしても責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
認証会社：Verisign, Inc. RSA Data Security, Inc. Entrust.net



不要となりました電話機本体、電池パック、および卓上充電器は、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店へお持ちください。

こんなことができます

本電話機の代表的機能や便利な機能の一部をご紹介します。仕事や生活のさまざまな場面で本電話機をご活用ください。

お使いになる前に、充電や日時の設定などの準備が必要です。

☞ 1章 最初にお読みください



使う前の準備



指紋センサーなどの使いかたを覚えておきましょう。

☞ ボタンの使いかた (1-15)

基本的な使いかたを覚えよう



電話帳や留守録音など便利な機能がたくさんあります。

☞ 7章 基本機能

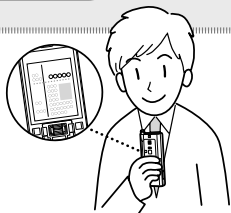
電話で話そう



内蔵カメラで手軽に画像が撮影できます。

☞ 12章 カメラ

カメラで写そう



パソコン用のホームページも見ることができます。

☞ 9章 インターネット

ホームページを見よう

パソコンや他社の携帯電話にもメールが送れます。

☞ 8章 メール



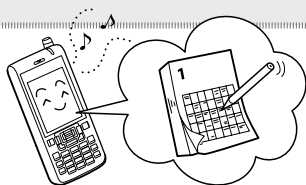
メールを使おう



パソコンをインターネットに接続したり、パソコンとデータをやり取りしたりできます。

☞ 10章 パソコンとの連携

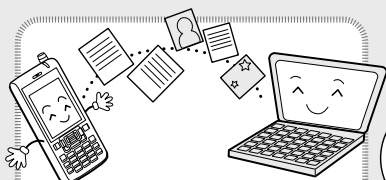
パソコンとつなごう



予定を登録しておけば、音とメッセージで予定が近づいたことを知らせてくれます。

☞ スケジュール機能を利用する (13-19)

スケジュールを管理しよう



メールやパソコンから受け取った画像や文書など各種データを表示することができます。

☞ データフォルダを活用する (13-53)

パソコン文書を見よう



番号非通知の電話の拒否や指紋認証によるロックなど、安全のための機能も充実しています。

☞ 11章 セキュリティ (安全)

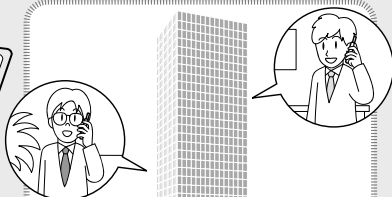
安全に使えます



ボタンを押すだけですぐに録音が始まります。

☞ ICレコーダを利用する (13-34)

ICレコーダで手軽に録音



事業所コードレスシステムの子機として利用できます

☞ オフィスモードで使う (14-4)

オフィスシステムに対応

目次

はじめに	0-1
こんなことができます	0-2
目次	0-4
本書の見かた	0-10
安全上のご注意—必ずお守りください—	0-11
取扱い上のお願ひ	0-19

基本編

1 最初にお読みください

セットを確認する	1-2
ハンドストラップを取り付けるには	1-2
充電する	1-3
電池バックを取り付ける	1-3
卓上充電器で充電する	1-5
電源を入れる／切る	1-7
電源を入れる	1-7
電源を切る	1-7
各部の名前	1-8
アンテナの使いかた	1-10
ライトの使いかた	1-10
画面の見かた	1-11
ガイダンス表示について	1-14
ボタンの使いかた	1-15
指紋センサーの使いかた	1-15
項目の選択と決定のしかた	1-18
メインメニューについて	1-19
共通のボタン操作	1-20
日時を設定する	1-22
microSDカードを取り付ける／取り外す	1-24
microSDカードを取り付ける	1-24
microSDカードを取り外す	1-25

2 電話をかける／受ける

電話をかける	2-2
電話を受ける	2-3
マナーモードにする	2-4
記録された電話番号にかける	2-5
リダイヤルする	2-5
発信履歴の電話番号にかける	2-5
着信履歴の電話番号にかける	2-6

3 電話帳を使う

電話帳に登録する	3-2
記録された電話番号に登録する	3-4
電話帳から電話をかける	3-6

4 文字の入力について

文字の種類を切り替える	4-2
入力モードについて	4-2
入力モードを切り替える	4-3
文字を入力する	4-4
ひらがなや漢字を入力する	4-4
数字を入力する	4-6
カタカナを入力する	4-7
英字を入力する	4-8

5 メールを利用する

自分のメールアドレスを設定する	5-2
Eメールを送る	5-3
メールを受け取る	5-5
メールを読む	5-6

6 インターネットを利用する

インターネットの利用を開始する／終了する	6-2
公式サイトを表示する	6-2
インターネットの利用を終了する	6-2
Webページの基本的な操作	6-3
表示範囲を移動する	6-3
リンク先のWebページを表示する	6-3
前のページに戻る／次のページに進む	6-4
Webページでの入力と選択	6-5
ホームページを利用する	6-7
ホームページを設定する	6-7
ホームページを表示する	6-8
アドレスを指定して接続する	6-9
ブックマークを利用する	6-10
ブックマークに登録する	6-10
ブックマークから接続する	6-11

機能解説編

7 基本機能

電話をかける (発信).....	7-2
利用できるサービス.....	7-2
利用できないサービス.....	7-2
電話をかける.....	7-2
より強い電波を探す (パワーサーチ).....	7-4
通話ごとに発信者番号の通知/ 非通知を設定する.....	7-4
記録されている電話番号にかける (発信履歴/着信履歴/番号メモ).....	7-5
ボイスを利用する.....	7-8
電話を受ける (着信).....	7-9
相手の発信者番号が通知されないとき.....	7-9
電話に出ないとき.....	7-10
通話中に電話がかかってきたとき (通信中着信).....	7-10
通話中の操作.....	7-11
受話音量を調節する.....	7-11
通話を保留にする.....	7-11
通話を録音する (通話録音).....	7-12
小声で話す (ひそひそ通話).....	7-15
手に持たずに通話する (ハンズフリー通話/スピーカ受話).....	7-16
通話中に電話帳を検索する.....	7-16
通話中にスケジュールを確認する.....	7-17
通話中に電話番号をメモする (番号メモ).....	7-17
通話中にメモ帳に入力する.....	7-18
通話中に自分の電話番号を確認する.....	7-18
文字を入力する.....	7-19
文字入力画面について.....	7-19
入力する文字の種類を切り替える.....	7-19
ひらがなや漢字を入力する (漢字モード).....	7-20
カタカナを入力する (カタカナモード).....	7-25
英字を入力する (英字モード).....	7-26
数字を入力する (数字モード).....	7-27
改行を挿入する.....	7-28
記号や絵文字を入力する.....	7-28
定型文を引用する.....	7-37
文字サイズを変更する.....	7-40
文章を編集する.....	7-40
ボケベル方式で入力する.....	7-43
電話帳を利用する.....	7-45
電話帳に登録する.....	7-46
電話帳を使って電話をかける.....	7-52
短縮番号で電話をかける.....	7-56
電話帳の内容を編集する.....	7-56
電話帳の内容を削除する.....	7-57
電話帳のグループ設定を変更する.....	7-58
電話帳をロックする (電話帳ロック).....	7-59

シークレットデータを一時的に表示する (シークレット一時表示).....	7-60
電話帳の登録件数を確認する (登録件数表示).....	7-60
音を調整する.....	7-61
受話音量を設定する (受話音量/スピーカ音量).....	7-61
ひそひそ通話を設定する (ひそひそ設定).....	7-61
着信音を設定する.....	7-62
マナーモードを設定する.....	7-66
特定の時間帯に着信音を消す (オートサイレント).....	7-68
安全運転モードを設定する.....	7-69
キー確認音を設定する (効果音).....	7-70
成功/エラー音を設定する (効果音).....	7-71
圏外/充電警告音を設定する (効果音).....	7-71
送達確認音を設定する (効果音).....	7-72
保留音を設定する.....	7-72
相手が出たことを振動で通知する (発信先応答通知).....	7-73
留守録音を設定する.....	7-74
留守録音を設定/解除する.....	7-74
録音されたメッセージを再生/削除する.....	7-75
マイメニューを利用する.....	7-78
マイメニューに登録する.....	7-78
マイメニューから操作する.....	7-78
マイメニューから削除する.....	7-79

8 メール

メールについて.....	8-2
Eメールについて.....	8-2
ライトメールについて.....	8-4
メールBOXについて.....	8-4
メールメニューを表示する.....	8-5
メールアカウントを設定する.....	8-6
Eメールアドレスについて.....	8-6
オンラインサインアップを行う.....	8-7
Eメールを作成送信する.....	8-8
Eメールを新規に作成して送信する.....	8-8
Eメールを保存し、まとめて送信する.....	8-12
受信したメールを読む.....	8-14
Eメールを受信する.....	8-14
受信メールを表示する.....	8-16
受信BOXのフォルダを活用する.....	8-18
送信メールを読む.....	8-22
送信メールを表示する.....	8-22
送信メールを編集して送信する.....	8-22
メールを管理する.....	8-23
メール本文の電話番号、メールアドレス、 URLを利用する.....	8-23
メール本文の文字をコピーする.....	8-25

メールを削除する	8-25
メールを保護する	8-28
メールを並べ替える (ソート)	8-28
メールを抽出する (フィルタ)	8-30
メールのヘッダ情報を表示する	8-30
文字サイズを切り替える	8-31
メールBOXの使用状況を見る	8-31
Eメールの環境を設定する	8-32
本文の引用について設定する	8-32
フォルダ表示を切り替える	8-32
Eメールの保存先を設定する	8-33
Eメール自動受信機能を設定する	8-33
送信するメールに表示する名前を設定する	8-34
署名を設定する	8-34
返信メールアドレスを設定する	8-35
Eメールをサーバに保存する	8-36
Eメールの受信行数を設定する	8-36
プロバイダのメールアドレスを利用する	8-38
メールアドレスを設定する	8-38
ライトメールを使用する	8-41
ライトメールを作成して送信する	8-41
受信したライトメールを読む	8-44

9 インターネット

Webの基本操作	9-2
Webの利用を開始する/終了する	9-2
公式サイトを表示する	9-2
前のページに戻る/次のページに進む	9-2
Webページ上の電話番号に電話をかける	9-3
Webページの電話番号にライトメールを送信する	9-4
WebページのEメールアドレスにメールを送信する	9-4
端末情報を通知する	9-4
フレームを選択する	9-5
ホームページを利用する	9-6
ホームページを設定する	9-6
ホームページを表示する	9-6
アドレスを使ってWebページに接続する	9-7
アドレスを入力してWebページに接続する	9-7
最後に表示していたWebページに接続する	9-7
アドレスの入力履歴からWebページに接続する (入力履歴)	9-8
Webページの表示履歴を利用する	9-9
履歴からWebページに接続する (履歴)	9-9
履歴のアドレスを確認する	9-9
Webページの表示履歴を削除する	9-10
タブを利用して複数のWebページを開く	9-11
リンクを新しいタブで開く	9-11
表示するタブを切り替える	9-11
表示中のタブを閉じる	9-11
表示していないタブを閉じる	9-12
ブックマークを利用する	9-13
ブックマークを登録する	9-13
ブックマークに登録したWebページに接続する	9-14
ブックマークフォルダ名を変更する	9-14
ブックマークのタイトルやアドレスを編集する	9-14
ブックマークを移動する	9-15
マイメニューにブックマークを登録する	9-15
ブックマークを削除する	9-16
Webページを検索する	9-17
インターネット上のWebページを検索する (インターネット検索)	9-17
Webページ内の文字列を検索する (文字列検索)	9-17
ページメモを利用する	9-19
ページメモを保存する	9-19
ページメモを表示する	9-20
ページメモのタイトルを編集する	9-20
ページメモのアドレスを確認する	9-20
ページメモを保護/保護解除する	9-21
ページメモを削除する	9-22
Webページに関する機能を活用する	9-23
Webページを再読み込みする (再読み込み)	9-23
Webページを翻訳する (翻訳)	9-23
Webページの画像を保存する	9-23
Webページ内の文字列をコピーする	9-24
Webページの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する	9-25
BGMの音量を調整する (音量調節)	9-25
BGMのサウンドデータを保存する (BGサウンドリスト)	9-26
Webページの先頭/末尾にジャンプする	9-26
文字サイズを変更する (文字サイズ)	9-27
文字コードを変更する (エンコード)	9-27
Webページの情報 (プロパティ) を表示する	9-28
ファイルをダウンロードする	9-29
ファイルをアップロードする	9-30
ブラウザの各種機能を設定する	9-31
JavaScriptの有効/無効を設定する (JavaScript)	9-31
アニメーションの表示/非表示を設定する (アニメーション)	9-31
画像の表示方法を設定する (画像)	9-32
テーブル機能の有効/無効を設定する (テーブル)	9-32
自動判別する言語を設定する (自動判別言語)	9-33
BGMの再生を設定する (BGM)	9-33
画面の表示幅を設定する (表示モード)	9-33

画面のスクロール量を設定する (スクロール)	9-34
画面の表示倍率を変更する (ズーム)	9-35
キャッシュに関する設定を行う (キャッシュ)	9-35
Cookieに関する設定を行う (Cookie)	9-37
最大リフレッシュ回数を設定する (最大リフレッシュ回数)	9-37
最大リダイレクト回数を設定する (最大リダイレクト回数)	9-38
ポップアップブロックを設定する (ポップアップブロック)	9-38
認証データの有効/無効を設定する (認証データ)	9-39
ユーザエージェントを選択する (ユーザエージェント)	9-39
証明書の有効/無効を設定する (証明書) ..	9-40
ブラウザに関する各種設定を確認する (設定確認)	9-40
接続先を変更する (インターネット設定) ..	9-41
ダイヤルアップの接続先を設定する (ダイヤルアップ設定)	9-41
接続モードを設定する (接続モード設定) ..	9-45
接続モードを選択する	9-47
接続モードを初期化する	9-48

10 パソコンとの連携

パソコンと接続する	10-2
パソコンと接続する	10-2
データ通信を行う	10-3
データ通信について	10-3
データ通信用ソフトをインストールする ..	10-4
通信方式を設定する	10-13
データ通信で発信する	10-15
ATコマンドで音声発信する	10-17
パソコン接続中に着信する	10-17
データ通信中の着信を設定する	10-18
Outlook と同期する (Intellisync)	10-20
お客様へのお知らせ、および 使用許諾契約	10-20
Intellisync でシンクできる データについて	10-22
Intellisync をインストールする	10-25
Intellisync の状態を管理する	10-28
Outlook とのシンクを実行する	10-29
Intellisync を再設定する	10-32
パソコンから microSD カード内のデータを 管理する (USB データストレージ)	10-36
USB データストレージとして設定する ..	10-36
USB データストレージの設定を解除する ..	10-37

11 セキュリティ (安全)

発信者番号通知を設定する (番号通知設定)	11-2
番号非通知の電話を受けない (非通知ガード)	11-3
特定の番号からの電話を受けない (着信拒否登録)	11-4
着信拒否番号を登録する	11-4
着信拒否番号を削除する	11-5
指紋や暗証番号による認証を行う (指紋設定/暗証番号変更)	11-7
指紋認証の注意事項について	11-7
指紋を登録する	11-8
認証に利用する指紋を設定する	11-9
指紋の登録名を変更する	11-9
登録した指紋を削除する	11-9
暗証番号を設定する	11-11
指紋や暗証番号で認証を行う	11-11
暗証番号で認証を行う	11-12
ボタン操作をロックする (キーロック)	11-13
キーロックを設定する	11-13
キーロックを解除する	11-13
ダイヤルをロックする (Sダイヤルロック)	11-14
無操作が続いたときにダイヤルロックする (オートダイヤルロック)	11-15
紛失/盗難時に電話機をロックする (リモートロック)	11-16
リモートロック機能の概要	11-16
リモートロック機能の設定をする	11-17
リモートロックを実行する	11-19
ユーザの情報をロックする (ロック設定) ..	11-22
ロックする項目を設定する	11-22
ロック設定一覧	11-23
管理者による制限を行う (管理者ロック) ..	11-24
管理者ロック機能の概要	11-24
管理者指紋と管理者パスワードを 設定する	11-24
管理者ロック機能の設定をする	11-26
設定をリセットする (リセット)	11-33

12 カメラ	
画像を撮影する	12-2
カメラをご利用になる前に	12-2
カメラ機能について	12-3
画像を撮影する	12-5
いろいろな撮影と機能	12-9
撮影した画像を Eメールで送信する	12-9
撮影するサイズを設定する (撮影サイズ) ..	12-9

画質を設定する (撮影画質)	12-10
室内/屋外など状況に応じたモードにする (撮影モード)	12-10
連続して撮影する (連続撮影)	12-11
セルフタイマーで撮影する	12-12
セピア/ネガ/モノクロで撮影する (アレンジ撮影)	12-13
画像を加工する (編集撮影/画像編集)	12-13
画像に日付を入れる (日付スタンプ)	12-15
シャッター音を設定する	12-15
画像を自動的に保存する (自動保存)	12-16
保存先を設定する (保存先選択)	12-16
メモリの使用状況を確認する (保存容量確認)	12-17
データフォルダを参照する	12-17
2次元コードスキャナーとして使用する	12-18
2次元コードを読み取る	12-18
読み取った情報を使用する	12-18
Javaアプリでカメラ機能を使用する	12-21

13 便利な使いかた

メニュー一覧表	13-2
いろいろな機能を設定する	13-5
プロフィールを表示する	13-5
USBで充電する	13-6
日時表示を設定する	13-8
日時自動補正を設定する	13-8
画面の配色を設定する	13-9
カレンダーを設定する	13-9
バックライトを設定する	13-10
着信ランプを設定する	13-12
省電力モードを設定する	13-13
イヤホン自動応答を設定する	13-14
サブアドレスを設定する	13-15
エニーキーアナーを設定する	13-16
英語表示にする	13-16
メインメニュー画面を変更する	13-17
メインメニュー画面を切り替える	13-17
スケジュール機能を利用する	13-19
カレンダーを表示する	13-19
スケジュールを登録する	13-20
スケジュールの内容を表示する	13-24
スケジュールの内容を変更する	13-26
スケジュールを削除する	13-27
目覚ましを利用する	13-30
電卓を利用する	13-33
ICレコーダを利用する	13-34
音声を録音する	13-34
音声を再生する	13-35
音声データを編集する	13-36
音声データを削除する	13-37

メモ帳を利用する	13-39
メモを入力する	13-39
メモを表示する	13-40
メモを編集する	13-40
メモを削除する	13-41
位置情報を利用する	13-43
位置情報通知機能の概要	13-43
発信型機能を利用する	13-45
着信型機能を利用する	13-46
イヤホンマイクをつなぐ	13-48
イヤホンマイク端子の使いかた	13-48
イヤホン装着時に電話を受ける	13-48
指紋センサーの動作を設定する	13-50
ポインティング動作を設定する	13-50
マウスカーソル動作を設定する	13-51
データフォルダを活用する	13-53
データフォルダについて	13-53
データフォルダを表示する	13-55
画像データを活用する	13-56
サウンドデータを活用する	13-64
録音データを活用する	13-65
テキストデータを開く	13-67
パソコンの文書データを開く	13-68
圧縮データを開く	13-72
HTMLデータを開く	13-73
Javaアプリケーションを活用する	13-73
データを管理する	13-78
フォルダを管理する	13-86
国際ローミングを利用する (国際ローミング)	13-91
ローミングモードに切り替える	13-91
台湾のローミング電話番号を登録する	13-92
タイ/ベトナムのローミング情報を 登録する	13-92
国際プリフィックス番号を簡単に付ける	13-93
国際電話をかける (ウィルコム国際電話サービス)	13-94
ウィルコムのサービスを利用する	13-95
料金分計サービスを利用する (有料)	13-95
留守番電話サービスを利用する (有料)	13-96
着信転送サービスを使う	13-97

14 モードの活用

利用するモードを選ぶ	14-2
待受モードについて	14-2
待受モードを切り替える (待受モード設定)	14-3
オフィスモードで使う	14-4
電話をかける	14-4
電話を受ける	14-5
電話を転送する	14-5
外線発信番号を登録する (外線発信番号)	14-5

優先発信するモードを切り替える (優先発信切替)	14-6
発信するモードを一時的に切り替える	14-6
オフィス番号を選択する (オフィス番号選択)	14-7
オフィスEメールを送受信する	14-7
オフィスモードでのその他の機能	14-7
グループモードで使う	14-9
グループを登録する	14-9
グループリストを登録する	14-10
グループ名を編集する	14-12
グループ登録を削除する	14-13
相手呼び出す〔トランシーバ通話〕	14-13
相手の呼び出しに応じる 〔トランシーバ通話〕	14-14
グループ内で電話帳やブックマークを転送する (電話帳/ブックマーク転送)	14-14

15 困ったときは

故障かな? ちょっと確認してください	15-2
エラーメッセージ一覧	15-4

付 録

お手入れ	A-2
定格・仕様	A-3
商標・登録商標	A-4
索 引	A-5
お問い合わせ窓口	A-10
本電話機に関するご相談	A-11

本書の見かた

本書は、基本編と機能解説編の2編構成で説明しています。

▶ 基本編

PHSを初めてご使用になる方や、本電話機の基本的な使いかたを手軽にお知りになりたい方を対象に、基本的な機能だけをまとめて説明しています。

▶ 機能解説編

本電話機の基本的な使いかたを理解している方を対象に、すべての機能の使いかたを網羅しています。目次や索引を活用して、お知りになりたい情報を素早く検索していただけます。

本書の索引では、機能名をキーにした検索だけでなく、「入力する」、「削除する」のように、操作をキーにして記事を検索できるようになっています。

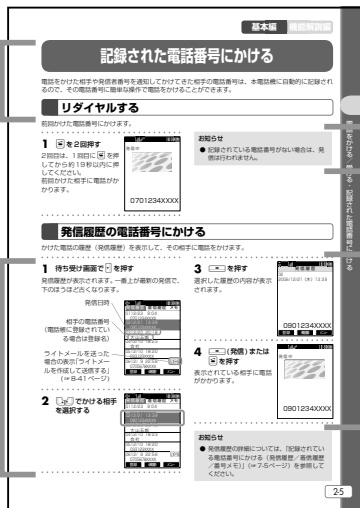
本書では、以下のように操作方法について説明しています。

機能概要

機能の内容を簡単に説明しています。

操作手順

本電話機を操作する際の操作手順を、順に説明しています。



お知らせ




機能の補足説明や、操作に関する注意事項などを記載しています。

画面表示









基本編では操作手順に従って操作を行ったときの、操作結果の画面を記載しています。

安全上のご注意—必ずお守りください

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危険や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。		
	分解してはいけないことを示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		触れてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。
	注意を示します。		

【免責事項について】

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害について、当社はその責任を負えない場合もございますのであらかじめご了承ください。
- 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通話・録音・通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社はその責任を負えない場合もございますのであらかじめご了承ください。
- 接続機器（パソコンなど）との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もございますのであらかじめご了承ください。

電話機本体、電池パック、卓上充電器の取扱いについて（共通）

危険



本電話機に使用する電池パックおよび卓上充電器は、指定のものをご使用ください。

指示

下記指定以外のものを使用した場合は、電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

・リチウムイオン電池パック NBB-9620 ・卓上充電器 NBA-9620

警告



強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

禁止

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。



ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

禁止

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、火災・爆発の原因となります。



電子レンジなどの加熱調理器に、電池パック、本電話機、卓上充電器を入れないでください。特に水没したときなど、濡れたときに電子レンジで加熱するようなことは絶対にやめてください。

禁止

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火や、本電話機、卓上充電器の発熱、発煙、発火や故障の原因となります。

注意



子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかご注意ください。

指示

けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温となる場所には保管しないでください。

禁止

火災や故障の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

禁止

落下して、けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因になります。



直射日光の強い場所や、炎天下の車内、火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所での使用、放置はしないでください。

禁止

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火、機器の変形、故障の原因となります。



注意

本電話機は周囲の環境による電波障害や受信状態によって通話ができなくなる場合があります。

電話機本体の取扱いについて

警告



指示

ハンズフリー通話やスピーカ受話の際は、必ず本電話機を耳から離して使用してください。

難聴になる可能性があります。



指示

本電話機より煙が出たり、異臭がするときは、直ちに電源を切ってください。

そのままで使用になると、火災の原因になります。ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。



禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本電話機を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



指示

航空機など、使用を禁止された区域では、本電話機の電源を切ってください。

電子機器に影響をおよぼす場合があります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、本電話機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

* ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、心臓ペースメーカー、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。心臓ペースメーカー、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

屋外で使用中に雷が発生した場合は、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

振動や着信音が身体に影響を与える原因となります。



禁止

医用電気機器（心臓ペースメーカー等）などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

本電話機を医用電気機器などの近くで使用すると、電波の影響で医用電気機器などの誤動作や故障の原因となる恐れがあります。



指示

満員電車の中など混雑した場所や近くに心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合は、本電話機の電源を切るようにしてください。

電波が心臓ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



禁止

自動車や自転車等を運転中に使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。車や自転車を安全なところに停車させてからご使用ください。



禁止

本電話機のすき間などに金属や異物を差し込まないでください。

感電や故障の原因になります。

電話機本体の取扱いについて〈つづき〉



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、けがなどの事故または故障の原因になります。



指示

病院内でのご利用にあたっては、必ず各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。



注意



禁止

ズボンやスカートの後ろポケットに本電話機を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞆の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

破損や故障の原因となります。



注意

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう原因となります。



禁止

本電話機を胸ポケットに入れたまま屈まないでください。

本電話機が落下して、故障あるいは人に当たりけがの原因となることがあります。



禁止

磁気カードなどを本電話機に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



禁止

人の多い場所では、使用しないでください。

アンテナが人に当たり、けがの原因となります。



禁止

フラッシュを人の目に近づけて光らせないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりして事故の原因となります。



禁止

本電話機に乗らないでください。特に小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください。

ころんだり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。



注意

建築構造やアンテナの取付位置により、通話ができない場合や通話範囲が狭くなったり、雑音が入ったり通話が途切れる場合があります。また、設置後において電波状態の変化により使用できなくなることがあります。



水ぬれ禁止

本電話機を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が本電話機の内部に入ると、発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。



指示

本電話機はオフィスシステムの
主通信網と併用して使用され
るように設計されています。
電波障害や電池消耗の影響を
受けますので、必ず補助的な
ものとしてご使用ください。

本電話機だけでは重要な連絡が取れな
くなる場合があります。



指示

外部からの電気雑音の影響を
受けて、通話中に雑音が入っ
たり、通話ができなくなること
があります。このようなと
きはしばらく待つか、本電話
機を雑音源から遠ざけてくだ
さい。

雑音源としては、テレビ・ラジオ・パ
ソコン・ファクシミリ・ワープロ・複
写機などのAV・OA機器および自動
車、オートバイなどがあります。

電池パックの取扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表 示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険



禁止

電池パックは火のそば、ストー
ブのそばなど、高温の場所
での使用、放置はしないでくだ
さい。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、
発火の原因となります。



禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩
いたり、踏みつけたりしないで
ください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、
発火の原因となります。



禁止

電池パックを本電話機に接続
するときに、うまく接続でき
ない場合は、無理に接続しな
いでください。また、電池パッ
クの向きを確かめてから接続
してください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、
発火の原因となります。



指示

電池パックの内部の液が皮膚
や衣服に付着した場合は、直
ちにきれいな水で洗い流して
ください。

皮膚に障害を起す原因となります。



禁止

絶対に火の中に投げ入れたり、
加熱しないでください。

爆発の危険があります。



接触禁止

電池パックの内部の液が漏れ
だした場合は、絶対に素手で
触れないでください。

素手でさわると、やけどをする場合が
あります。万一、目に入った場合は、
失明の恐れがありますので、きれいな
水で洗い落として、直ちに医師の治療
を受けてください。

電池パックの取扱いについて〈つづき〉



水ぬれ禁止

水やペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。

電池パックの発熱や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。



禁止

電池パックの端子を針金などの金属類などで接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。



警告



指示

電池パックが液漏れしたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。

液漏れした溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。



禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。



注意



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店をお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。



分解禁止

分解、改造をしないでください。また、直接ハンダ付けしないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。



禁止

電池パックの使用時、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、本電話機から取り外し、使用しないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。



ぬれ手禁止

濡れた手で電池パックを交換しないでください。

発火や故障の原因となります。



指示

電池パックの充電温度範囲は10℃～40℃です。

この温度範囲以外で充電すると、液漏れや発熱の原因となったり、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。

卓上充電器の取扱いについて

警告



卓上充電器には必ずAC100Vを使用してください。

誤った電圧で使用すると火災、故障の原因となります。



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因になります。



卓上充電器の電源プラグをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。



万一、卓上充電器を落としたり、破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用されると、火災、感電の原因となりますので、ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。



風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

感電の原因となります。



充電中は卓上充電器を安定した場所に置いてください。また、卓上充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

本機が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。



コンセントにつながれた状態で電源端子を絶対にショートさせないでください。また、電源端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

故障、けが、感電、火災の原因となります。



コードなどを持って卓上充電器を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



コードが傷んだら使用しないでください。

感電、火災、故障の原因となります。



コードを、無理に曲げたり、束ねたりして傷つけないでください。

故障や感電、火災の原因となります。



卓上充電器のすき間などに金属や異物を差し込まないでください。


感電や故障の原因となります。





テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。

発熱、火災の原因となります。


卓上充電器の取扱いについて 〈つづき〉


 <p>電源プラグを抜く</p>	万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから卓上充電器の電源プラグを抜いてください。
感電、発熱、火災の原因となります。	


 <p>電源プラグを抜く</p>	卓上充電器から煙が出たり、異臭がするときは、すぐに卓上充電器の電源プラグをコンセントから抜いて安全な場所へ移動してください。
そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険です。絶対におやめください。ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。	


 <p>電源プラグを抜く</p>	近くに雷が発生した場合は、安全のため、すぐにコンセントから卓上充電器の電源プラグを抜いてください。
火災、感電、故障の原因となります。	


注意


 <p>電源プラグを抜く</p>	お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。	


 <p>指示</p>	卓上充電器の電源プラグをコンセントから抜く場合は、コードを引っ張らず、ケース全体を持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因となります。	


 <p>禁止</p>	濡れた電池パックを充電しないでください。
発熱、発火、破裂の原因となることがあります。	


 <p>電源プラグを抜く</p>	充電終了後は卓上充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、故障の原因となります。	

 <p>分解禁止</p>	分解、改造はしないでください。
感電、火災、故障の原因となります。	

 <p>水ぬれ禁止</p>	卓上充電器や卓上充電器の電源プラグを濡らさないでください。
電池パックの発熱や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。	

 <p>ぬれ手禁止</p>	濡れた手で卓上充電器、卓上充電器の電源プラグやコンセントに触れないでください。
感電の原因となります。	

 <p>禁止</p>	卓上充電器に乗らないでください。<特に、小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください>
ころんだり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。	

 <p>禁止</p>	卓上充電器のコードの上に重いものをのせたり、改造したりしないでください。
感電や火災の原因となります。	

取扱い上のお願い

■はじめに

この製品は総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けてある銘板をはがさないでください。

製品を分解して改造することは法律により禁止されています。不法に改造を加えてご使用になると、法律により罰せられることがあります。

■共通のお願い

本電話機に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れてたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

水につけたりしないでください。

お風呂の中や水の中につけたりしないでください。また、できるだけ雨などの水滴がかからないようにしてください。故障の原因となり保証の対象外となります。

汗や水がついたときにはすぐに拭いてください。

汗をかいた手でさわったり、汗をかいた衣服のポケットに入れてたりしないでください。汗が内部に侵入し故障の原因となります。汗や水がついたときにはすぐに乾いた布で拭いてください。

お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

本電話機の充電端子や卓上充電器の電源端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐蝕し故障の原因となります。

■電話機本体についてのお願い

極端な高温、低温はさけてください。

温度は0℃～40℃、湿度は35%～85%の範囲でお使いください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合があります。

電子レンジをご使用のときには…。

電磁波の影響で雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

電子機器から発生されるノイズ等により、本電話機の動作に影響を与える場合があります。

お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

ディスプレイやケースを硬い布などで強くこすると、傷がつく場合があります。お取扱いは十分ご注意ください、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。

また、ディスプレイに水滴や汚れが付着したまま放置すると、染みになったりしますので、すみやかに拭き取るようにしてください。

お客様ご自身で本電話機に登録された内容は、別にメモを取るなどして保管してくださいようお願いいたします。

万一登録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■指紋センサー取り扱いについてのお願い

指紋センサー表面はキズにつきやすいため、以下の点についてご注意をお願いします。

・ほこりやゴミがついた状態で指紋センサーを操作しないでください。

指先や指紋センサー表面に、ほこり、ゴミ、砂などが付着した状態で、指紋センサーを操作すると、キズがつき故障の原因となります。

- 指紋センサーの表面を拭く場合は、柔らかい布でやさしく拭いてください。

指紋センサー表面をゴミのついた布で拭いたり、ごしごしこすったりすると、キズがつき故障の原因となります。

- 硬いもので指紋センサー表面をこすらないでください。

指紋センサー表面を金属など硬いものでこすると、キズがつき故障の原因となります。

- 鍵やコインなどと一緒にカバンやポケットに入れないでください。

輸送中に鍵やコインなどと指紋センサー表面が接触し、キズがつく恐れがあります。

キズがつくのを防ぐため、カバンやポケットなどに入れる際は、袋に入れることをお勧めします。

- ストラップ（アクセサリ）でキズをつけないようにしてください。

金属など硬いストラップ（アクセサリ）を電話機につける場合は、指紋センサー表面にあたらないようにしてください。

指紋センサーは時々乾いた柔らかい布で清掃してください。

指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり認証率が低下したり、画面項目の選択や決定といった操作ができなくなることがあります。

■電池パックについてのお願い

充電は、適正な周囲温度（10℃～40℃）の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかつたときは、ご使用前に必ず充電してください。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化の具合により異なります。

直射日光があたらず、風通しのよい涼しい場所に保管してください。

長時間使用しないときは、使いきった状態で、本電話機から外して保管してください。

電池パックは消耗品です。

使用状態によっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■卓上充電器についてのお願い

次のような場所では充電しないでください。

周囲の温度が10℃以下または40℃以上になるところ

湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります。）

一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く（ラジオなどに雑音が入ることがあります。）

充電中、卓上充電器が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■microSD カード（別売り）についてのお願い

microSDカードにデータを保存しているときなどにmicroSDカードを取り外したり、本電話機の電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。

microSDカードのデータが破損されることがあります。

microSDカードが取り付けられているときに本電話機に落下などの強い衝撃を与えるとmicroSDカードが飛び出すことがありますのでご注意ください。

microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してください。

万一保存されたデータが消失または変化してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDカードの取り扱いについては、ご購入したmicroSDカードに添付の取扱説明書をご覧ください。